

第50号

## 協会たより



公益社団法人

大正琴協会

〒460-0008

名古屋市中区栄1-12-6-1104

TEL (052) 228-8106 FAX (052) 228-8257

URL <https://www.taishokoto.or.jp>E-mail [info@taishokoto.or.jp](mailto:info@taishokoto.or.jp)

## 理事長挨拶

## 理事長 北林 篤



令和6年6月の通常総会で新たに理事長に就任しました北林篤と申します。任期を精一杯努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

さて、大正琴は昭和50年代にブームが始まり、平成10年頃にかけて全国各地に流会派が誕生しました。こうした中、流会派の垣根を越えて大正琴音楽文化の普及発展を図る組織として当法人が平成5年に当時の文部省許可のもと設立され、平成25年からは内閣府認定の公益社団法人に移行して活動を続けています。

長期に亘り順風満帆であった大正琴の世界ですが、残念ながら今は大正琴愛好者の高齢化に悩まされています。当法人においても正会員の減少により活動の原資となる会費収入が減って運営に深刻な影響が出ています。正会員を増やす一層の努力を重ねると同時に、寄附やクラウドファンディングといった様々な方法も活用して、大正琴音楽文化を守り続けたいと思います。

大正琴は誕生から110年余りが過ぎ、格段の進化を遂げて多くの人を魅了する楽器になりました。この魅力あふれる大正琴を未来につなげるため、皆様のご支援を重ねてお願いし理事長挨拶といたします。

## 公益社団法人大正琴協会 第12回通常総会議事録

- 総会の種類 第12回通常総会
- 開催日時 令和6年6月5日(水)  
午後1時00分から午後1時40分
- 開催場所 主たる会場  
名古屋市中区大須三丁目8番20号 高栄ビル2階  
公益社団法人大正琴協会事務所  
従たる会場  
(1)愛知県名古屋市中区昭和区御器所1丁目6番24号(愛知会場)  
(2)静岡県浜松市中央区領家2丁目25番7号(静岡会場)  
(3)長野県駒ヶ根市赤穂14番地545(長野会場)
- 出席社員の状況  
議決権のある社員(正会員)総数 2,101名  
総社員の議決権の数 2,101個  
出席社員数(委任状による者を含む) 1,668名  
この議決権の総数 1,668個  
(内、代理権行使による議決権数 1,659個)  
なお、愛知会場、静岡会場及び長野会場に存する社員は、WEB会議システム(インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム)により、本総会に出席した。
- 議長兼議事録作成者 理事長 鈴木禮子
- 出席役員等  
出席理事 鈴木禮子、北林 篤、中村敏裕  
出席監事 遠島敏行、丹羽正夫  
事務局 横澤美樹  
なお、次の理事は、WEB会議システムにより、次の場所において出席した。  
(1)愛知会場 岩間昌一、岡本浩二、加藤誠、楠本好弘  
(2)静岡会場 竹森雅裕、町田謙吾  
(3)長野会場 藤澤賢治、米山千秋

## 7. 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

- (1)開会  
定刻に、司会者の中村敏裕理事が挨拶。  
岩間昌一副理事長が、開会を宣言。
- (2)挨拶  
鈴木禮子理事長が挨拶。
- (3)議長選出  
司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、出席正会員中より、鈴木禮子理事長を本総会の議長としたいを旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し、議長となった。  
議長は、WEB会議システム利用に際し、情報伝達の双方向性・即時性の確保がなされていることを確認した旨を述べた。  
次に議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、総正会員の議決権の3分の2以上を有する正会員の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。
- (4)議事録署名人名選出  
議長が、議事に先立ち、議事録署名人名2名の選出について諮ったところ、議長に一任することにつき、全員異議なく賛成したので、議長は、藤澤賢治常務理事及び加藤誠理事を指名し、これを議場に諮ったところ全員異議なく承認した。被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

## (決議事項)

## 第1号議案 令和5年度事業報告の承認に関する件

議長が、岡本浩二常務理事に本件議案の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに事業報告について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって承認可決した。

第2号議案 令和5年度計算書類の承認に関する件  
議長が、事務局に本件議案の説明を求めた。事務局横澤美樹より、当期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）における事業状況について、予め配布した計算資料をもとに詳しい説明があった。  
引続いて監事を代表し、遠島敏行監事が、理事の職務執行状況及び計算書類等を監査したところ、いずれも適正妥当であることを認めた旨を報告した。  
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、下記書類につき、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

- 1. 貸借対照表
- 2. 正味財産増減計算書
- 3. 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属書類
- 4. 財産目録

第3号議案 基本財産の一部取り崩しの承認に関する件  
議長が、北林篤常務理事に本件議案の説明を求めた。  
同常務理事より、予め配布した資料をもとに本件議案について詳しい説明がなされた。  
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数の承認を得たことにより、定款第18条第2項の特別決議の要件を満たしており、原案どおり承認可決した。

第4号議案 理事及び監事の選任に関する件  
議長が、当法人の理事13名及び監事2名の全員が本総会の終結をもって任期満了退任するので、その改選の必要がある旨を述べ、その選任方法について議場に諮った。出席社員の中より意見がないため、議長が、議長の指名に一任することにより、その賛否を議場に諮ったところ全員異議なくこれに賛同した。  
議長は、岩間昌一副理事長に役員候補者案の説明を求めた。同氏は、役員候補者が下記の理事13名及び監事2名である旨を報告した。  
議長が、下記候補者を指名し、各候補者につき、それぞれ選任の可否を議場に諮ったところ、それぞれ過半数の賛成があつたので、下記全員につき選任を承認可決した。

なお、出席理事及び監事の全員は、席上、いずれもその就任を承諾した。  
理事 鈴木禮子、北林 篤、竹森雅裕、藤澤賢治、福留 強、中村敏裕、山崎照登、寄田恭正（新任）、金子敦子（新任）、米山直希（新任）、今田晴義（新任）、遠藤重雄（新任）、秋山清志（新任）  
監事 遠島敏行、丹羽正夫

（報告事項）  
報告1 令和6年度事業計画の報告に関する件  
議長が、竹森雅裕常務理事に本件説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに令和6年度事業計画について詳しく説明した。  
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その報告を了した。

報告2 令和6年度収支予算の報告に関する件  
議長が、事務局に本件説明を求めた。事務局横澤美樹は、予め配布した資料をもとに令和6年度収支予算について詳しく説明した。  
以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その報告を了した。

8. 閉会  
以上をもって、公益社団法人大正琴協会第12回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。  
そして、北林篤常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。  
令和6年6月5日 公益社団法人大正琴協会 通常総会  
議長 鈴木禮子 ㊞  
議事録署名人 藤澤賢治 ㊞  
同 加藤 誠 ㊞

令和5年度 決算書

貸借対照表の要旨  
令和6年3月31日現在

(単位：千円)

	科 目	金 額
資産の部	流 動 資 産	6,017
	固 定 資 産	3,158
	合 計	9,176
負債及び 正味財産の部	流 動 負 債	1,011
	負 債 合 計	1,011
	指定正味財産	0
	一般正味財産	8,164
	負債及び正味財産合計	9,176

令和6年度 予算書

正味財産増減計算書の要旨  
自：令和6年4月1日 至：令和7年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
経常収益	17,756
〔 基本財算運用益〕	〔 1〕
〔 受取入会金、会費〕	〔 8,516〕
〔 事業収益〕	〔 2,500〕
〔 受取負担金〕	〔 6,739〕
〔 受取寄附金〕	〔 0〕
〔 雑収益〕	〔 0〕
経常費用	22,100
〔 事業費〕	〔 17,393〕
〔 管理費〕	〔 4,706〕
当期経常増減額	△4,344
一般正味財産期首残高	8,164
一般正味財産期末残高	3,820
正味財産期末残高	3,820

公益社団法人大正琴協会 役員名簿

(順不同、敬称略)

役職名	氏名	職歴	役職名	氏名	職歴
理事長	北林 篤	琴伝流大正琴全国普及会 会長 有限会社日本バイオリン研究所大正琴全国普及会 代表取締役	理事	金子 敦子	名古屋芸術大学 元教授
副理事長	鈴木 禮子	琴城流大正琴振興会 会長 株式会社鈴木音楽産業 代表取締役社長	理事	秋山 清志	株式会社カメラワーク 代表取締役顧問
常務理事	竹森 雅裕	琴城流大正琴振興会 運営理事 鈴木楽器販売株式会社 生涯学習課	理事	今田 晴義	株式会社 ステージループ 代表取締役社長
常務理事	藤澤 賢治	琴伝流大正琴全国普及会 総本部長 有限会社日本バイオリン研究所大正琴全国普及会 取締役	理事	遠藤 重雄	新潟県幼児音楽指導研究会 会長
常務理事	中村 敏裕	琴城流大正琴振興会 管理部長 鈴木楽器販売株式会社 生涯学習課 課長	理事	寄田 恭正	琴城流大正琴振興会 地区担当理事 鈴木楽器販売株式会社 取締役 営業部長
常務理事	米山 直希	有限会社日本バイオリン研究所大正琴全国普及会 主任	監事	遠島 敏行	公認会計士
理事	福留 強	聖徳大学 名誉教授 元文部省 生涯学習局 社会教育官	監事	丹羽 正夫	司法書士兼行政書士
理事	山崎 照登	有限会社日本バイオリン研究所大正琴全国普及会 上席本部師範	※職歴は令和6年6月総会開催日現在		

令和5年度 大正琴寄贈・講師派遣事業報告書

大正琴普及活動として、次世代継承のため学校へ大正琴の寄贈・講師を派遣しての指導を行いました。大正琴を見るのも初めての児童生徒が多い中でも楽しく大正琴を学んでくれました。協力いただきました学校、指導していただきました講師の方々に感謝申し上げます。

令和5年度は大正琴の寄贈は20台、参加校は38校、受講された児童生徒数は529名でした。前年に比べ7校増えました。校内演奏、地域での演奏の報告がありました。この大正琴普及活動は毎年行う継続事業ですので会員の皆様のご支持とご協力、よろしくお願いいたします。

大正琴普及事業 令和5年度寄贈・講師派遣先

No	県	学 校 名	No	県	学 校 名
1	岩手県	住田町立世田米中学校	20	静岡県	島田市立神座小学校
2	秋田県	大館市立釈迦内小学校	21		島田市立初倉小学校
3	福島県	いわき市立湯本第三小学校	22		島田市立六合小学校
4		いわき市立勿来第二小学校	23		長泉町少年少女サークル事業（はびはぴサークル）
5		白河市立金子小学校	24	三重県	静岡県立藤枝特別支援学校 焼津分校
6	長野県	南木曽町立南木曽小学校	25		津市立川口小学校
7		西箕輪中学校	26		四日市市立大谷台小学校
8	富山県	射水市立東明小学校	27		鈴鹿市立庄内小学校
9		射水市立海老江児童センター	28	京都府	伊勢市立厚生小学校
10		上市町立白萩西部小学校	29		精華町立精北小学校
11	石川県	七尾市立天神山小学校	30	大阪府	舞鶴市立中筋小学校
12		七尾市立和倉小学校	31		茨木市立水尾小学校
13	岐阜県	高山市立宮小学校	32	奈良県	王寺町立王寺南義務教育学校
14		高山市立朝日小学校	33	広島県	広島県立戸手高等学校
15	静岡県	浜松市立葵が丘小学校	34	福岡県	御幸コミュニティ
16		島田市立金谷小学校	35	熊本県	和水町立菊水小学校
17		島田市立島田第三小学校	36	大分県	大分東明高等学校
18		島田市立島田第四小学校	37	宮崎県	宮崎市立住吉小学校
19		島田市立五和小学校	38	沖縄県	南城市立大里北小学校



# 令和6年度 普及功労者表彰

令和6年6月5日(水)に「公益社団法人大正琴協会第12回通常総会」が前年同様にオンライン形式で開催されました。これに伴い、総会後に執り行われる予定の「令和6年度普及功労者」の表彰式も残念ながら中止としましたが、次の受賞者23名には後日表彰状をお届けいたしました。

## 令和6年度 普及功労者

(順不同・敬称略)



揚妻 智子  
愛知県



斉藤 友美子  
新潟県



久門 真理子  
愛媛県



小田 名保美  
愛知県



堺 禎子  
福島県



金井 宏美  
徳島県



江口 明子  
大阪府



長谷川 国昭  
埼玉県



神田 美枝子  
静岡県



芝田 律子  
大阪府



藤原 明子  
広島県



松尾 育子  
長崎県



小島 和也  
兵庫県



山本 孝子  
三重県



羽生 綾子  
茨城県



常松 利子  
茨城県



沖田 るり子  
茨城県



中川 比差子  
茨城県



飯塚 孝子  
茨城県



中村 宣子  
千葉県



山田 宇希美  
長野県



木田 八千子  
長野県



大杉谷 幸子  
愛知県



## 第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭 「清流の国ぎふ」文化祭2024「大正琴の祭典」

令和6年10月20日(日)に岐阜県岐阜市の「長良川国際会議場メインホール（さらさ〜ら）」にて「大正琴の祭典」が開催されました。この催しは文化庁主催の第39回国民文化祭の事業の一環として実施し、大正琴の魅力と文化を伝承する目的で子供の部として「全国子供大正琴コンクール」と一般の部として地元岐阜県の大正琴愛好者を中心に全国から17グループが集い演奏しました。世界的な建築家・安藤忠雄氏設計のホールで、幅広いジャンルの曲目を演奏した祭典となりました。

次回は令和7年11月9日(日)長崎県の長崎市民会館文化ホールでの開催を予定しております。



### 令和6年 全国子供大正琴コンクール

令和6年全国子供大正琴コンクール最終選考会は、第39回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭「清流の国ぎふ」文化祭2024「大正琴の祭典」の「子供の部」として開催しました。

当コンクールの最終選考会には一次選考会を通過した計16個人・グループが出演しました。

一次選考会には小学校、中学校、高校のクラスの応募もあり、最終選考会へ2校選出されました。教育の場で大正琴がかかわって子供の情操に貢献できることは素晴らしいことであります。各部門の最優秀演奏者・グループへ文部科学大臣賞が贈られました。



演奏の様子



最終選考会出演者

# 「令和6年全国子供大正琴コンクール」審査結果

賞	部 門	本選	曲 名	氏 名・グループ名
文部科学 大臣賞	ソロ部門 A	○	舟唄	杉野 心咲
	ソロ部門 B	○	序奏とロンドカプリチオーソ	吉富 心音
	アンサンブル部門 A	○	リンゴ追分	和心会ジュニア
	アンサンブル部門 B	○	花嫁人形	上州六人組
金賞	ソロ部門 A	○	アイドル	河村 優輝
		○	「アルルの女」第2組曲より	芹澤 郁奈
	ソロ部門 B	○	ミュージカル「レ・ミゼラブル」より	大島 千佳
		○	情熱大陸	若林 慧磨
		○	長唄 娘道成寺	岡崎 咲那
	アンサンブル部門 A	○	Hallelujah〜ハレルヤ〜	大正琴アンサンブルことふれんど ジュニアアンサンブル
		○	崖の上のポニョ	サンシャインNAKOSO 2
		○	やまがたファンタジー	クインテットソナーレ
		○	炎〜紅蓮華	l a P a c e
	アンサンブル部門 B	○	剣の舞	伊那市立西箕輪中学校2年東組
		○	ワタリドリ	ドリーム娘
		○	アイノカタチ	春の会大正琴教室
			ベートーヴェン交響曲第9番「歓喜の歌」	住田町立住田中学校総合文化部
銀賞	ソロ部門 A		きらきら星	柴村 和花
			夕焼小焼	中根 遥貴
			やさしさに包まれたなら	川原 由衣
			故郷	梅ヶ谷 咲希
			ジングルベル	星野 翠
			ラ・クンパルシータ	今井 悠月
			「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲	廣谷 夏羽
			影を慕いて	多田 明音
			星影のワルツ	白鳥 杏果
			長良川艶歌	白鳥 菜菜
	ソロ部門 B		ダイジョウブ	山田 彩葉
			マリーゴールド	羽藤 瑞悠
			グレン・ミラーメドレー	山田 桜礼
			大きな古時計	佐野 実悠
	アンサンブル部門 A		ふるさと	あいのきっず
			おもちゃのマーチ	ふじえだハーブスターズ
			Believe ビリーブ	ドレミ音楽教室
			ドレミの歌	オレンジNAKOSO 2
			故郷	宮崎市立住吉小学校 ※
			ラヴァーズ・コンチェルト	キッズ・サウンドK
			365日の紙飛行機	ふじえだハーブフラワーズ
	アンサンブル部門 B		黒田節	ザ・フラワーズ
			荒城の月幻想曲	伊豆琴慧会ティアレ
			負けないで	大分東明高校商業科介護福祉コース1年 ※
			マツケンサンバ	さくらんぼ
			「竜とそばかすの姫」より 歌よ/U	アンディーズ
			トルコ行進曲	大正琴ファンタジー・琴音人「スピカ」

・部門の説明（年齢基準日 令和6年4月2日\*）

A 平均年齢が12歳以下の出演者

B 平均年齢が12歳を超える出演者

※ 令和6年3月末日までに収録したビデオで応募した場合は、応募時の学年

・「本選」欄に○のある個人・グループ計16組が国民文化祭「大正琴の祭典」の最終選考会に出場

・同じ賞の表示順は最終選考会出場者を先にした年齢（平均年齢）の若い順



## 令和7年 全国子供大正琴コンクール出場者募集

令和7年全国子供大正琴コンクールは、昨年に引き続き国民文化祭の事業の一環として行われることになりました。

お送りいただいたビデオ映像にて一次選考会を行い金賞・銀賞・銅賞を選定し、その中の成績上位者の方に「大正琴の祭典」子供の部（コンクール最終選考会）にご出演いただきます。

コンクールへの参加は大正琴を習う子供たちにとって大きな目標になります。演奏レベルは問いませんのでお気軽にご応募ください。

**開催日：**令和7年11月9日(日)

**会場：**長崎市民会館 文化ホール

**部門：**ソロ部門、アンサンブル部門

**表彰：**金賞・銀賞・銅賞・文部科学大臣賞

**参加費：**無料

**参加対象：**18歳以下の子供

※最終選考会出演者へ一部交通費の補助があります。

※詳細は当法人へお問い合わせください。

※今回変更事項は演奏時間が5分から4分に変わりました。

## クラウドファンディングの告知

公益社団法人大正琴協会では、平成18年より次世代への大正琴普及活動を目的として、学校及び教育機関へ大正琴の寄贈・講習事業に取り組んできました。

この事業の資金は、会員の皆様の会費及び事業収入等を充てていますが、会員数の減少などにより運営状況がひっ迫していることから、クラウドファンディングによる資金援助を計画しております。

会報発行日現在、プロジェクトページは立ち上がっておりませんが、公開日程など詳細が決まりましたら協会ホームページ内でご案内をいたしますので、是非、皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 寄附のお願い

公益社団法人大正琴協会は、大正琴による生涯学習活動を通じて、大正琴音楽の次世代への伝承と芸術文化の振興に寄与することを目的とし、大正琴の寄贈・講習、コンクール及び演奏会事業等を実施しております。

これらの事業に必要な資金は、主に会員の皆様の会費および事業収入等を充てていますが、より一層の内容の充実と展開を図るためには安定した財政基盤の確立が重要であります。その為、法人・個人を問わず広く一般の方々に寄附金を募集しております。

皆様からお預かり致します寄附金は、当法人の「寄附金取扱規程」に則り、募集の趣旨に従って有効に使用させていただきます。

なお、反社会的勢力と認められる個人・法人・団体からのご寄附については受け入れていませんことを申し添えます。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.taishokoto.or.jp/about/kifu/>



## 会員たより

### 子供達の大正琴

琴城流いわき支部 支部長 深谷久美子

大正琴協会の普及事業をきっかけに、小学校の子供達を指導する機会が増え「日本の伝統音楽」の一部としての授業やクラブ活動で、大正琴を取り入れています。

子供達は、初めて見る大正琴に興味津々!!自分で音を出した瞬間に、瞳がキラキラと輝き始めます。休み時間になっても、ほとんど席を立とうとせず、夢中で弾いています。長年音楽の指導に携わってきて、いつもながら子供達の反応の速さには感心させられます。

令和4年度から指導している公立小学校の5・6年生チームが令和5年度、6年度と二年連続で全国子供大正琴コンクールに出場しました。選抜でなく希望者全員が参加して練習を重ねました。学校のある福島県いわき市からコンクール会場までは遠方のため貸し切りバスで9時間から10時間かかりました。それでも全員揃って参加できたのは、とてもうれしい事でした。連続の出場にあたりましては、多くの方々のご協力、ご支援をいただき心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

大正琴という楽器を通して、皆が心をつなげて演奏することの「よろこび」「満足感」、そして「大きな自信」を持つことができました。この貴重な体験を基に、将来また必ず「大正琴」を手にする時が来ることを信じて、これからも楽しい音楽を伝え続けたいと思います。



## 今後の予定

### ○第13回通常総会

日 時：令和7年6月4日(水)

会 場：名古屋市内（未定）及びオンライン会場

### ○第40回国民文化祭 第25回全国障害者芸術・文化祭 ながさきピース文化祭2025

「大正琴の祭典」 ●一般の部

●子供の部（令和7年全国子供大正琴コンクール 最終選考会）

日 時：令和7年11月9日(日)

会 場：長崎市民会館 文化ホール

入場料：無料

## 編集後記

大正琴協会事務所が下記に移転しました。

今後ともご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《新住所》 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-12-6-1104

電 話 052-228-8106

F A X 052-228-8257

編集担当 常務理事 竹森雅裕